

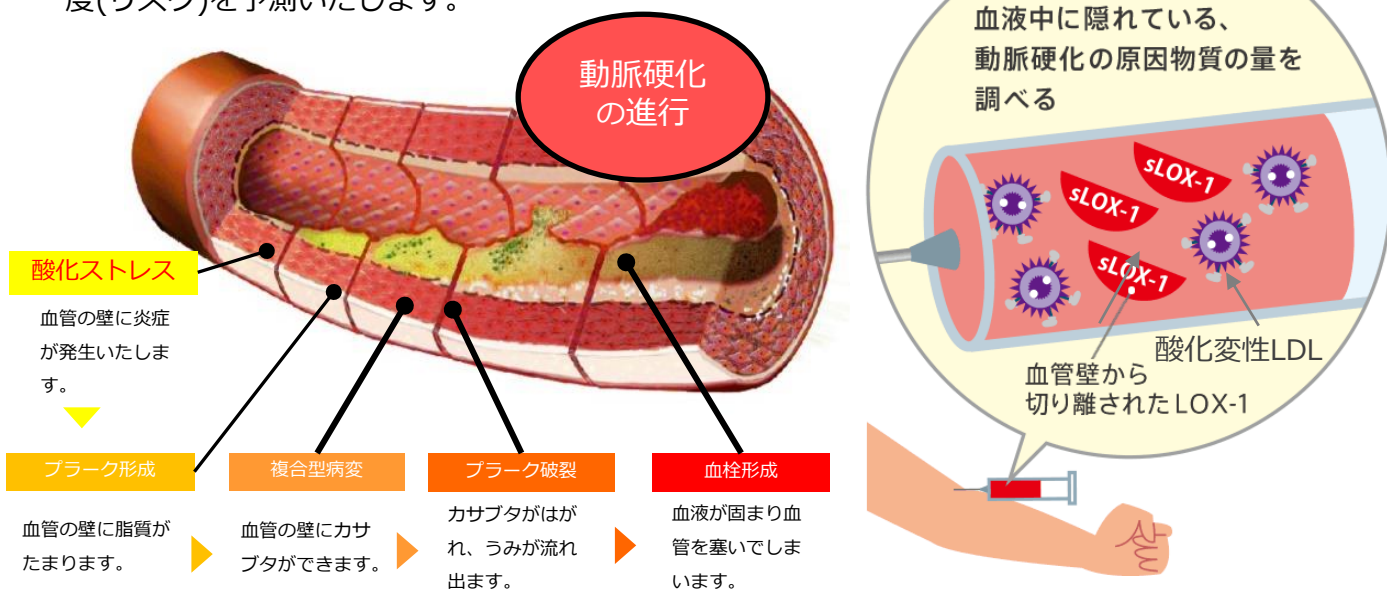
# 血液検査でわかる 脳梗塞・心筋梗塞の可能性

-LOX-indexで発症危険度をチェック-

## LOX-index(ロックスインデックス)とは？

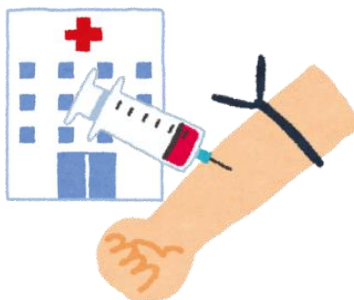
脳梗塞・心筋梗塞の発症危険度の予測を目的とした検査です。検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール“酸化変性LDL”と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる“LOX-1”というたんぱく質を測定します。

検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度(リスク)を予測いたします。



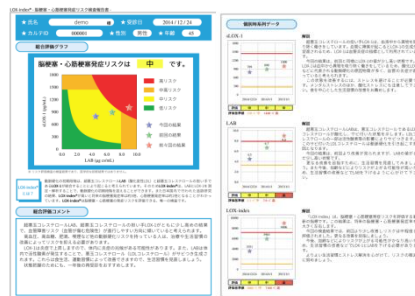
検査の受付

検査をご希望の方はスタッフにお伝えください



医療機関での採血

採血を行います。(2ml~4ml)



レポート到着

採血から2週間を目安に結果レポートをお届けします。

検査料金(オプション検査)： ¥ 19,440(税込)

# 結果報告書 (サンプル)

発症リスクのレベルを  
分かりやすくグラフで記載。

生活習慣改善のための  
アドバイス別冊子つき

LOX-index®・総悪玉・心筋梗塞発症リスク検査報告書

★氏名 demo様 ★受診日 2014/12/24  
★カルテID 000001 ★性別 男性 ★年齢 45

### 総合評価グラフ

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。

■ 高リスク  
■ 中高リスク  
■ 中リスク  
■ 低リスク

★ 今回の結果  
★ 前回の結果  
★ 前々回の結果

※リスク評価項目の掲載範囲であり、医師の診断結果ではありません。

動脈硬化の初期段階は、総悪玉コレステロールLAB（酸化性LDL）と悪玉コレステロールの担い手でsLOX-1が結合することにより起こると考えられています。そのsLOX-index®は、LABとLOX-1を測定・検出することで、動脈硬化の初期段階を捉えることができます。また日本国内で行われた基礎研究の結果、LOX-index®が高いと将来の脳梗塞発症率は約3倍、心筋梗塞発症率は約2倍とすることがわかっています。LOX-index®は脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価できる、唯一の検査です。

### 総合評価コメント

総悪玉コレステロールLAB、総悪玉コレステロールの担い手LOX-1がともに少し高めの結果で、血管障害リスク（血管が傷む危険性）が進行しやすい方向に傾いていると考えられます。高血圧、高血糖、肥満、喫煙など他の動脈硬化リスクを持っている人は、治療や生活習慣の改善によってリスクを抑える必要があります。

LOX-1は炎症で上昇しますので、体内に炎症の兆候がある可能性があります。また、LABは体内で活性酸素が生成することで、悪玉コレステロール（LDLコレステロール）が伸びやすくなる状態です。これらは食生活、運動習慣によって改善できますので、生活習慣を見直しましょう。

状態把握のためにも、一年後の再受診をおすすめします。

### 個別時系列データ

#### sLOX-1

検査日	sLOX-1 (pg/mL)	評価
2014/12/24	789	中
2014/1/1	890	中
2013/1/1	1000	中

解説  
総悪玉コレステロールの担い手LOX-1は、血液中から異物を取り除く働きをしています。血管に障害が起こるとLOX-1の生成が促進されるため、LOX-1は血管炎症の指標として利用されています。

今回の結果は、前回と同様にLOX-1の値が少し高い状態です。LOX-1は血中から異物を取り除く働きをしているため、酸化LDLなどに代表される動脈硬化の原因物質が多く、血管の炎症が起きていると考えられます。

この状態を改善するには、ストレスを避ける必要があります。メンタルストレスのほか、酸化ストレスにも注意して下さい。食を中心とした生活習慣の改善をお願いします。

#### LAB

検査日	LAB (µg c/mL)	評価
2014/12/24	4.5	中
2014/1/1	6.7	中
2013/1/1	9.0	中

解説  
総悪玉コレステロールLABは、悪玉コレステロールであるLDLコレステロールが酸化し、サビ付いた状態を示します。LDLコレステロールの一部は活性酸素等の影響によりサビつきます。このサビ付いたLDLコレステロールは動脈硬化を引き起こす原因となります。

今回の結果は、前回より改善が見られますが、LABの値がまだ少し高い状態です。

要する改善を目指すために、生活習慣を見直しとしましょう。また今後、喫煙などによりリスクが上がる可能性があります。生活習慣の改善などでLABを下げるように心がけて下さい。

#### LOX-index

検査日	LOX-index	評価
2014/12/24	3551	中
2014/1/1	5963	中
2013/1/1	9000	中

解説  
LOX-index®は、脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する最新の指標です。この結果は、従来の脳梗塞・心筋梗塞発症率を大きく左右します。

今回の検査結果では、前回より少し改善しリスクは中程度と評価されました。要する改善を目指しましょう。

今後、加齢などによりリスクが上がる可能性が高いため、生活習慣の改善などでLOX-1とLABを下げる必要があります。

よりよい生活習慣とストレス解消を心がけて、リスクの軽減に努めましょう。

### 動脈硬化とは?

動脈硬化は、血管の壁にコレステロールやカルシウムがたまり、血管が狭くなる病気です。血管が狭くなると、血液の流れが悪くなり、心臓や脳に十分な血液が送られなくなります。最終的には、心臓や脳に障害が及ぶ可能性があります。

### 動脈硬化のメカニズム

① 正常な血管の状態。LDLが血管壁に侵入し、酸化してLDL-oxに変わります。  
② 酸化LDL-oxが血管壁に侵入し、炎症を引き起こします。  
③ 炎症によって血管壁が傷つき、コレステロールやカルシウムがたまり、プラークが形成されます。  
④ プラークがたまり、血管が狭くなります。最終的には、心臓や脳に障害が及ぶ可能性があります。

### 「人間はストレスにも強い！」

約100年前にカナダの医師ウィリアム・オースターが提唱した「ストレス」の概念が広く知られるようになりました。現代人は肉体的な活動量の減少、情報過多によるストレス、生活習慣病の増加などにより、ストレスの影響を受けやすくなっています。

ストレスは、心臓や血管に負担をかけ、動脈硬化を引き起こす原因となります。ストレスを軽減し、健康的な生活を送ることが大切です。

### LOX-1を改善するために

LOX-1の値が高い方は血管の炎症が進んでいる可能性があります。

高血圧や糖尿病などの病気によって、LOX-1の値が高くなる場合があります。これらの病気をお持ちの方は、治療を受けることで、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを下げることもできます。

高血圧を下げるような治療は、LOX-1の値を下げることも期待できます。高血圧の治療に際しては、医師の指導のもとで治療を受けることが大切です。また、生活習慣の改善などでも、LOX-1の値を下げることも期待できます。

中高年世代が体重を下げることで、LOX-1の値を下げることも期待できます。運動不足による体重増加は、動脈硬化の原因の一つです。適切な運動を行うことで、体重を減らし、LOX-1の値を下げることも期待できます。

1日の喫煙量が10本以上の方は、LOX-1の値が高くなる傾向があります。喫煙を減らすことで、LOX-1の値を下げることも期待できます。

### LABを改善するために

LABの値が高い方は、体内の酸化ストレスが高い状態にあります。

高血圧、糖尿病などの病気によって、LABの値が高くなる場合があります。これらの病気をお持ちの方は、治療を受けることで、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを下げることもできます。

高血圧を下げるような治療は、LABの値を下げることも期待できます。高血圧の治療に際しては、医師の指導のもとで治療を受けることが大切です。また、生活習慣の改善などでも、LABの値を下げることも期待できます。

中高年世代が体重を下げることで、LABの値を下げることも期待できます。運動不足による体重増加は、動脈硬化の原因の一つです。適切な運動を行うことで、体重を減らし、LABの値を下げることも期待できます。

1日の喫煙量が10本以上の方は、LABの値が高くなる傾向があります。喫煙を減らすことで、LABの値を下げることも期待できます。

検査結果に対する総合的な  
コメントや改善の方向性を提案。

過去の検査結果からの  
推移も一覧できる解説付き。

## よくあるご質問

Q. ロックスインデックスでは何を調べているの？

血液中の酸化した“超悪玉コレステロールLAB”と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませるタンパク質“LOX-1”の量を測定しています。検査によって得た測定データを“過去の臨床データ”と照らし合わせることで将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを調べています。

Q. 通常の健康診断では問題がなかったが・・・

健康診断は病気になっていないかを早期に発見するものです。ロックスインデックスでは病気になる前の段階から、将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを調べることができます。

Q. 検査に食事制限などはありますか？

制限はありません。食前や食後に影響なく受診頂けます。

Q. ロックスインデックスではどのくらい採血されるのですか？

約2~4ml程度です。通常の間人ドック・健康診断に併せてご受診頂くことが可能です。

ご予約に関するお問い合わせ

医療法人社団 新町クリニック

☎0428-31-5312(予約)